

編集 後記

日本公衆衛生雑誌第52巻第4号をお届けします。本号では、総説1編、原著1編、公衆衛生活動2編、資料2編を掲載しております。内容は、高齢者ボランティア活動に関するもの、レジオネラ症患者の精神的健康状態を検討したもの、地域における高齢者向けの運動アドバイザー養成システムについて報告したもの、新生児訪問事業の効果評価に関するもの、生活満足感と生活習慣の関係をみたもの、小児救急医療に対する保護者の不安について調べたものとなっております。小児から高齢者まで、幅広い年齢層の問題に対応した論文が集まっており、今回も、広範な分野を対象とする本学会の特徴がよく反映されています。また、地域における保健・医療・福祉の活動、事業に注目した内容が多いのも、公衆衛生雑誌の特色といえるでしょう。

他の学会誌や雑誌の場合と同様に、公衆衛生雑誌の編集委員会にも、論文の投稿について、あるいは、投稿論文の扱い、内容、著者名などについて質問、意見、要望が寄せられます。投稿規定を熟読することで解決できる問題が少なくありませんが、時代の変化などもあり、現在の投稿規定では十分に対応できない点もでてきたようです。そこで、編集委員会では、会員の方がよりスムーズに投稿できるように、投稿規定の改定をおこなっております。論文を投稿される方は、是非、最新の投稿規定を確認して、内容、体裁などを整えていただきたいと思います。(新野直明)

次号予告(第52巻:第5号)

原 著

禁煙の関心度を規定する要因—行動科学的検討—
榎本妙子, 他
 女子大学生の食生活状況および体型・体重調節志向と疲労自覚症状との関連.....尾崎麻衣, 他
 特別養護老人ホーム入所者の家族介護における精神的健康とその関連要因.....深堀浩樹, 他
 地方都市における配偶者・パートナー間の暴力体験とその関連要因.....長谷川美香, 他
 週及的診療録調査における有害事象把握の手法論に関する研究—医師判定の信頼性に関する検討—.....池田俊也, 他

The 13th International Congress on Occupational Health Services 第13回産業保健サービスに関する国際学会

会 期：2005年12月1日(木)～3日(土)

会 場：栃木県総合文化センター(宇都宮市)

主 催：ICOH Scientific Committee on Health Services Research and Evaluation in Occupational Health (国際産業保健学会「産業保健サービス・調査・評価に関する科学分科会」)

学会長：武藤孝司(獨協医科大学公衆衛生学講座教授)

メインテーマ：根拠に基づく産業保健サービス

プログラム：基調講演、一般演題発表(口演、ポスター)、展示

基調講演テーマ：コクラン共同計画(産業保健)/産業保健サービスの実践ガイドライン/望ましい産業保健サービスの構造と機能/産業保健サービスにおける倫理的問題

一般演題抄録締切：2005年8月31日

連絡先(学会事務局)：獨協医科大学公衆衛生学講座(担当：鈴木悦子)

〒321-0293 栃木県下都賀郡壬生町北小林880

TEL：0282-87-2133 FAX：0282-86-2935

E-mail：ohs2005@dokkyomed.ac.jp

URL：http://www.dokkyomed.ac.jp/dep-m/pub/ohs2005.html